

2025 年度金沢大学「人文社会科学における法」

小テスト（2024 年 12 月 16 日）解答・解説

足立英彦（法理学）出題分

1. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 法学のうち、実定法学以外の分野を法理学と呼ぶ。
- (b) 実定法学の共通の問は「何が法か」であり、法理学の共通の問は「法とは何か」である。
- (c) 法理学の対象は、時代や場所によって異ならない、法の本質的な部分である。
- (d) 法理学は基礎法学の一分野である。

解答 (a)

解説 実定法学以外の分野を「基礎法学」と呼ぶ。配点は、16 の自由記述以外はすべて 1 点（以下同じ）。

2. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 一つの規範を複数の異なった規範文で表すことができるので、規範は規範文よりも基礎的な概念である。
- (b)  $\diamond$  は可能性を、 $\Box$  は必然性を意味する記号である。
- (c)  $O$  は義務を、 $P$  は許可を表す記号である。
- (d) 様相は、文の聞き手や読み手の受け止め方を表す。

解答 (d)

解説 様相は、文の話者や書き手の態度を表す。

3. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 「ある世界  $w$  において  $A$  であることが必然的である」は、「 $w$  から到達可能なすべての可能世界で  $A$  である」と言い換えることができる。
- (b) 「ある世界  $w$  において  $A$  であることが非必然的である（必然的でない）」は、「 $w$  から到達可能なすべての可能世界で  $A$  でない」と言い換えることができる。
- (c) 「ある世界  $w$  において非  $A$  である（ $A$  でない）ことが必然的である」は、「 $w$  から到達可能な少なくとも一つの可能世界で  $A$  である、ということはない」と言い換えることができる。
- (d) 「ある世界  $w$  から到達可能な少なくとも一つの可能世界で  $A$  である」は、「 $w$  から到達可能なすべての可能世界で  $A$  でない、ということはない」と言い換えることができる。

解答 (b)

解説 「ある世界  $w$  において  $A$  であることが非必然的である（必然的でない）」( $\neg\Box A$ ) は、「 $w$  から到達可能な少なくとも一つの可能世界で  $\neg A$  である」( $\diamond\neg A$ ) と言い換えることができる。

4. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 「ある世界  $w$  において  $A$  であることは義務的である」は、「 $w$  から到達可能なすべての

理想世界で A である」と言い換えることができる。

- (b) 「ある世界  $w$  において A であることが許されている」は、「 $w$  から到達可能な理想世界のうち少なくとも一つの世界で A である」と言い換えることができる。
- (c) 「ある世界  $w$  において A であることが禁止されている」は、「 $w$  から到達可能な理想世界のうち少なくとも 1 つで A である、ということはない」と言い換えることができる。
- (d) 「ある世界  $w$  において A であることが義務的でない」は、「 $w$  から到達可能な少なくとも 1 つの理想世界で A である、ということはない」と言い換えることができる。

解答 (d)

解説 「ある世界  $w$  において A であることが義務的でない」 ( $\neg OA$ ) は、「 $w$  から到達可能な少なくとも 1 つの理想世界で  $\neg A$  である」 ( $P \neg A$ ) と言い換えることができる。

5. 「自動車通学をすることが禁じられている」が真である場合、次の発言のうち、誤っているもの（偽であるもの）を一つ選べ。
- (a) 自動車通学をしないことが義務づけられている。
  - (b) 自動車通学をしないことが許されている。
  - (c) 自動車通学をすることが義務づけられていない。
  - (d) 自動車通学をすることが許されている。

解答 (d)

解説 「自動車通学をすることが禁じられている」 ( $O \neg A$ ) 場合、

- (a) 「自動車通学をしないことが義務づけられている。」 ( $O \neg A$ ) は真。「自動車通学をすることが禁じられている」 ( $O \neg A$ ) とこの (a) は同じ意味。
- (b) 「自動車通学をしないことが許されている。」 ( $P \neg A$ ) は真。 $O \neg A$  は  $P \neg A$  を含意するので、前者が真なら後者も真。
- (c) 「自動車通学をすることが義務づけられていない。」 ( $\neg OA$ ) は真。 $O \neg A$  は  $\neg OA$  (つまり  $P \neg A$ ) を含意するので、前者が真なら後者も真。
- (d) 「自動車通学をすることが許されている。」 ( $PA$ ) は偽。 $O \neg A$  と  $PA$  は互いに否定の関係なので、一方が真なら他方は偽。

6. 「煙草を吸わないことが許されている」が真である場合、次の発言のうち、真偽が分かるものはどれか。
- (a) 煙草を吸う自由がない。
  - (b) 煙草を吸う自由がある。
  - (c) 煙草を吸うことが義務づけられている。
  - (d) 煙草を吸うことが禁止されている。

解答 (c)

解説 「煙草を吸わないことが許されている」 ( $P \neg A$  : 不作為の許可) が真である場合

- (a) 「煙草を吸う自由がない。」 ( $OA \vee O \neg A$ ) は真偽不明。互いに小反対の関係にあるので、一方が真なら他方は真偽不明。

- (b) 「煙草を吸う自由がある。」( $PA \wedge P\neg A$ ) は真偽不明。自由は不作為許可を含意するので、後者が真なら前者は真偽不明。
- (c) 「煙草を吸うことが義務づけられている。」( $OA$ ) は偽。互いに反対の関係なので、一方が真なら他方は偽。
- (d) 「煙草を吸うことが禁止されている。」( $O\neg A$ ) は真偽不明。禁止は不作為許可を含意するので、後者が真なら前者は真偽不明。

7. 次の問のうち、誤っているものを1つ選べ。ただし、 $O, P$  は義務様相、 $A$  は文だとする。

- (a)  $OA$  が真ならば、 $PA$  は真。
- (b)  $\neg O\neg A$  が真ならば、 $\neg PA$  は偽。
- (c)  $P\neg A$  が真ならば、 $O\neg A$  は真。
- (d)  $PA \wedge \neg A$  が真なら、 $OA$  は偽。

**解答** (c)

**解説**

- (a)  $OA$  は  $PA$  を含意するので、「 $OA$  が真ならば、 $PA$  は真」は正しい。
- (b)  $\neg O\neg A$  (すなわち  $PA$ ) と、 $\neg PA$  (すなわち  $O\neg A$ ) は互いに否定の関係にあるので、一方が真なら他方は偽。
- (c)  $P\neg A$  は、 $O\neg A$  に含意される ( $O\neg A$  は  $P\neg A$ ) を含意するので、 $O\neg A$  の真偽は不明。
- (d)  $PA \wedge \neg A$  と  $OA$  は互い反対の関係にあるので、一方が真なら他方は偽。

8. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 義務は可能を含意する。
- (b) 不可能なことは禁止されている。
- (c) 必然的なことは義務的だ。
- (d) 可能なことは許されている。

**解答** (d)

**解説** (d) ある世界  $w$  で  $\Diamond A$  が真であれば、 $w$  から到達可能な少なくとも一つの可能世界で  $A$  が真、しかしこの可能世界が理想世界でもあるかどうかは分からず。したがって  $w$  で  $PA$  の真偽は不明。逆の「許されていることは可能である」とは言える。

9. 学問の自由がある国について次の発言のうち、正しいもの（真であるもの）を一つ選べ。

- (a) 学問をすることが義務づけられている。
- (b) 学問をすることが禁じられている。
- (c) 学問をすることが許されている。
- (d) 学問をしないことが義務づけられている。

**解答** (c)

**解説** (c) 自由は作為許可を含意するので、ある行為についての自由があれば、その行為の不作為が許されている。

10. 次の空欄を埋めよ。(文字はすべて漢字)

- (a) 不作為義務と自由は( )の関係にある。
- (b) 作為許可と不自由は( )の関係にある。
- (c) 作為義務は作為許可を( )する。
- (d) 作為義務と不作為許可は( )の関係にある。

解答 1 反対 2 小反対 3 含意 4 否定

11. 法規範の正しさに関する次の文の空欄を埋めよ。(文字は全て漢字)

第一に、互いに両立しない法規範は、どちらか一方を不正とみなすべきである。第二に、法規範を定める(1)のない者が定めた規範は、法規範としては認められない。第三に、これは論者によって立場が分かれるが、あまりに(2)に反する規範は、法規範としては認められない。

解答 1 権限 2 正義

12. 次の選択肢のうち、正しいものを一つ選べ

- (a) 「正義とは何か」という問に対する多様な答えを「正義概念」(the concept of justice)と呼ぶ。
- (b) 様々な正義構想が共有する觀念を「正義構想」(concepts of justice)と呼ぶ。
- (c) アリストテレスは狭義の正義を、分配における正義と、様々な取引における「是正的なもの」と分けた。
- (d) 分配的正義を実現するためには、無条件の個別規範を定め、それに従って判断すれば良い。

解答 (c)

解説 (a) 正：正義構想。 (b) 正：正義概念。 (d) 正：条件つきの一般規範。

13. 次の文の空欄を埋めなさい。

二者間の関係に対する評価の基準を(1)正義と呼ぶ。この(1)正義は、非自発的なものと自発的なものとに分けられる。前者は加害者(犯罪者や不法行為者)と被害者の関係、後者は売主と買主、貸主と借主の関係における正義である。前者の正しさを(2)正義、後者の正しさを(3)正義と呼ぶ。(1)正義は、特殊な場合の、すなわち、対象となる2人が同じ価値を有するとみなされる場合の(4)正義である。

解答 1 平均的 2 匡(矯)正的 3 交換的 4 分配的

14. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 法規範の内容を定めるためには、法の目的を決める必要がある。
- (b) 理想的な行為や状況を定めているだけで、その行為や状況が実現しなかった場合にどうなるのかを定めていない規範を原理と呼ぶ。
- (c) 功利主義は、人々の自由を最大限実現することを重視する構想である。
- (d) 基本権を制限する法律の目的が他の基本権を守ることにある場合、その法律の目的自体

は正当であるとみなされる。

**解答 (c)**

**解説 (c)** 誤「功利主義」 正「自由主義」。功利主義は人々の幸福の総量の最大化を重視する。

15. 次の文の空欄を埋めなさい。(文字は全て漢字)

基本権侵害を伴う法律の目的に対してその法律が定める法的効果が（ 1 ）的であり、（ 2 ）であり、かつ（ 3 ）しいと判断される場合、その法律は合憲であり、不（ 1 ）、不（ 2 ）、または不（ 3 ）と判断される場合は違憲である。

**解答 1 適合 2 必要 3 相応**

16. この授業（12月9, 16日）の感想（納得した点、驚いた点、疑問に思う点、難しくて理解できなかった点など）や改善提案等を記入してください。（内容にかかわらず、記入があれば2点）

**回答**

否定的なご意見（表現は修正してます）をいくつか紹介し、回答します。

- 第1回の授業内容は理解が難しかった（多数のご意見）。

回答：法学の対象である法は規範ですので、規範に対する基本的な知識は知っておいていただきたいと考え、毎年同様の内容の授業をしています。難しい内容であることは承知していますが、金沢大学の学生の皆さんであれば理解できると信じます。小テストの平均点も8割近くであり、多くの皆さんにご理解いただけたのではないかと考えます。いずれにしても、もっと分かりやすい説明となるよう、今後も努力します。

- 2回目の授業の内容は、学習しなおす機会がなく、そのままテストに移行するのはおかしい。

回答：1回目、2回目ともに、授業の内容をすべて文章にしたものを事前にWebClassに掲載し、予習をお願いしました。また、2回目（正義とは何か）は1回目（規範とは何か）よりも平易な内容となっています。過去問とその解答も公開しています。ご理解をいただきますよう、お願ひいたします。

- 時間だけは守っていただきたい。10分以上の延長はその後の予定に影響があります。

回答：ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。2回目の授業開始が遅れ、授業の終了も遅れたため、小テストの終了が18:12になってしまいました。今後はできるだけ授業時間内に終わるよう、気をつけます。

以上

参考情報（2025年12月18日現在）

- 小テスト結果

| 履修登録数 | 受験者数 | 平均点（25点満点） |
|-------|------|------------|
| 209   | 197  | 19.2       |

25点8名、24点10名

- 履修者の所属：人文26、法129、経24、地創9、国際14、学教0、総7